

「チョーク一本で教育改革を」
模擬授業で教え方日本一、世界一を目指そう
練習は不可能を可能にする

開倫研究所 所長
開倫塾 塾長 林 明夫

第5回全国模擬授業大会に御参加の皆様、ようこそ日本最古の学校、足利学校のある街足利市において頂きました。皆様の御来足を心より歓迎申し上げます。

この全国模擬授業大会は、「チョーク一本で教育改革を」を合い言葉に、日々の授業を充実させることにより、各教育機関の社会的使命（mission ミッション）を果たすことを目的とするものであります。教育活動には様々な形態がありますが、親切でわかりやすく、授業の上手な先生は誰からも喜ばれ尊敬されます。

今年の全国模擬授業大会は、全国から47名の先生方が、まずは小学部、中学部英語、数学、国語、理科・社会、高校部の6部門に分かれ日頃の教え方を競います。

次に6部門の優勝者が、参加者全員の前で模擬授業を行い、本年度の最優秀者を決定するものです。審査員長の小川先生を始め、総勢30名の審査員の先生方には改めて深く感謝申し上げます。

さて、「教育の成果を決定する要因」は何かといえば、「本人の自覚」と「先生の力量」であると考えられます。本人に自覚が不足すれば、いくら力量のある先生が教えても教育の成果は十分に期待出来ないとも思われます。その結果、本人の自覚を促すことも、多くの教育機関では先生の力量として求められます。

そこで、第5回全国模擬授業大会では、本人の自覚を促す内容も含めた模擬授業を展開するよう、参加者の先生方には予めお願い申し上げます。

何のために生きるのか、何のために学ぶのか、何のために進学をするのか、進学をして何を学ぶのか、今やっている勉強は世の中に出て役に立つのか、どのように学んだら良いのか、学び方を学ぶスキルを身につけるにはどうしたらよいのかなど、本人の自覚を促すお話を自由自在に模擬授業の中で展開して頂ければ幸いです。

吉田松陰先生も囚われの身でありながら、同じ獄中の人々に学ぶ喜びを与えたと伝えられております。人々を教導くことは、人の生き方として最も尊いことと考えます。多くの人々が一人の優れた先生の教えで、よく生きることができるようになり、その人なりの人生の成功を得られれば、社会も正常に機能するようになります。

このように教育の原点は授業にあります。チョーク一本で教育改革はいくらでも可能です。どうか頑張って参りましょう。

最後になりましたが、第5回全国模擬授業大会開催にあたり、お忙しい中御来賓としておいで頂きました、衆議院議員 茂木敏充先生、栃木県議会議員 齋藤具秀先生、足利市長 大豆生田実先生、学校法人船田教育会理事長 船田元先生、文星国際交流センター長 上野みちこ先生、財団法人文字・活字文化推進機構理事長 肥田美代子先生、足利市議会議員 塩田等先生はじめ、御参加の先生方に心より御礼申し上げます。また、第3回大会に引き続き会場を提供して下さいました足利大学附属高等学校校長 北村隆先生、会場準備をして下さいました先生方、そして本大会開会式に彩りを添えて下さいました足利工業大学附属高等学校・吹奏楽部顧問 崎山省二先生と生徒の皆様、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。以上、大会主催者としての御挨拶と心よりの御礼を申し上げます。

感謝